

平成24年度 第2学年 音楽科 年間指導計画

教科の目標	(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫をして表現する能力を育てる。 (3)多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に幅広く鑑賞する能力を育てる。
--------------	---

月	単元・題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳との項目
4	曲想の変化の理解と表現の工夫 声部の重なり方の理解と表現の工夫	3	[夢の世界を] [翼をください]	・前半と後半でリズムや音の重なり方が変化することによって、曲想の変化がうまれていると感じ取る。 ・ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。	授業観察 実技テスト 定期テスト 忘れ物 発表 提出物	1-(2) 希望、勇気、強い意志
5	フーガのおもしろさ 旋律線を生かした表現の工夫	4	アルトリコーダー 「Time To Say Goodbye」 フーガ ト短調 [オーラリー] 「われは海の子」 [夏の日の贈り物] 旋律線を生かした表現	・パイプオルガンの音色、旋律と和音がからみ合うフーガの形式や構造と曲想との関わりを理解して鑑賞する。 ・旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。		1-(5) 反省と向上、個性の伸長
6	詩と音楽との関わり	6	「浜辺の歌」	・歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って、歌唱表現を工夫する。		3-(3) 人間の強さと気高さ、生きる喜び
7	アカペラの魅力	6	アカペラの合唱曲 My Melody	・いろいろな歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取る。		4-(4) 役割と責任の自覚、集団生活の向上
9	混声合唱へのステップ ～さまざまな曲想の表現～	4	混声三部合唱曲 (学年合唱) 各クラスの合唱曲	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。		2-(3) 友情・信頼
10	日本の歌の美しさを求めて 世界各地の歌声の特徴	4	「荒城の月」 「サンタルチア」 世界の諸民族の音楽	・歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫する。 ・曲の特徴と声の音色との関わりを理解し、それらを生かしながらのびやかで響きのある声で表情豊かに歌唱表現を工夫する。		3-(2) 自然愛護、豊かな心、畏敬の念
11	速度や強弱の変化を生かした音楽 動機の展開を伴う形式のおもしろさ	4	「花の季節」 交響曲第五番 ハ短調	・曲の魅力を支えている速度や強弱の働きを感じ取り、それらを生かして表現を工夫する。 ・モチーフがどのように使われているのか探りながら「ソナタ形式」のしくみを理解し、それが西洋音楽の特徴の一つであることを知る。		授業観察 実技テスト 定期テスト 忘れ物 発表 提出物
12	言葉によるリズムアンサンブル アルトリコーダーの響き	3	おうまがとおる! 曲のしくみ アルトリコーダー 「威風堂々」	・アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照などの構成を理解して表現を工夫する。 ・曲にふさわしい音色や奏法、リズムを感じ取り、それらを生かして表現を工夫する。		4-(7) 愛校心、校風の樹立
1	舞台芸術と音楽	2	長唄・歌舞伎「勸進帳」 オペラ「アイーダ」	・音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わう。		4-(9) 愛国心、伝統の継承を文化の創造
2	心通う合唱	3	卒業証書授与式の合唱曲 [国歌]君が代 「校歌」	・声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うと共に、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を醸成する。		
3	日本の郷土芸能と伝統芸能	2	日本の郷土芸能 文楽	・日本の郷土芸能に親しみ、その音楽の特徴を味わう。 ・文楽や義太夫の特徴(旋律、テクスチャ、音色)を理解し、音楽のよさを味わいながら、鑑賞する。		
		35				

学習のアドバイス

音楽の授業では、西洋音楽だけでなく様々な国の様々なジャンルの様々な時代の音楽を広く学習します。それらに興味、関心を抱いて、生活の中に取り入れて豊かな情操を養っていただきます。演奏活動では、正しい姿勢から美しい音色が醸し出されます。日ごろから、授業に取り組む態度や姿勢に気をつけて集中して授業に臨みましょう。

- | | |
|----------------|--|
| ① 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽に親しみ、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 |
| ② 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。 |
| ③ 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 |
| ④ 鑑賞の能力 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。 |